

将来構想検討委員会からの御報告【活動状況について】

大分大学医学部第1外科 北野 正剛

将来構想検討委員会の担当理事・委員長を拝命している、大分大学医学部第1外科の北野でございます。

日本創傷治癒学会の継続、発展、社会への貢献につながるようにしていくことがこの委員会の目的です。私を含めて10名の委員の先生方とメールによる意見交換を行ってきて、いくつかの課題について検討してまいりました。

まず、学会法人化の問題です。これまでに多くの学会が任意団体でしたが、2008年12月1日より公益法人法が変更になり多くの学会が一般社団法人に変更を検討中です。もう少し学会員が増えて経済的基盤が確立してからがよいという意見もございますが、法人化により専門医制度や技術認定制度を構築することができ、会員数の増加が見込めるのではないかという意見が多いようです。法人化に対して反対のご意見は少ないようですので、今後、解決すべき問題を解決し、法人化に向けて理事会で協議していきたいと考えています。

次に専門医制度・技術認定制度の問題です。多くの学会において、専門医制度を導入することにより飛躍的な学会員数の増加、学会【総会】参加者の増加をもたらしたことは周知のことと思います。本学会においても以前から専門医制度の導入が議論されてきました。ただし、本学会の特徴として会員の専門分野として形成外科、外科【特に消化器外科】、皮膚科などの臨床系医師や、解剖学、病理学、生化学、生理学など多くの基礎系学者を擁するということがあり、統一した基準による専門医認定や技術認定が極めて困難であることが考えられ、さらなる議論が必要であると考えています。日本再生医療学会、日本褥創学会、日本創傷外科学会、日本熱傷学会などの協議・連携も視野に入れて議論していくことも重要と考えています。

会員数を増加させる案件ですが、看護職をはじめとするコメディカルの方々に多く参加していただく工夫をすることも重要であると考えています。NP(診療看護師)制度の開始や認定看護師制度【特に皮膚排せつケア認定看護師】の充実により、創傷治癒、創傷管理・ケアに対する看護師の興味はますます深まってきています。本学会においてもナース向けを意識した臨床実地に結びつく教育的企画・プログラムを組むことも一案と考えます。

財政的基盤を確立していくことも本委員会の役割の一つと考えています。安定的な学会運営を行うために、現時点では一般会員10,000円、評議員20,000円と、他学会と比較して決して安くない会費をいただいているのが



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会

2010.8
No.58

● 日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学医学部外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3355-4707

e-mail: info@jswh.com

URL: <http://www.jswh.com>

現状です。学会運営費の中で多くの割合を占めるものが学会誌購読料【年6回のWound Repair and Regenerationの購読】であり、これを電子ジャーナル化すれば、費用が大幅に節減できることはすでにお知らせしているとおりです。冊子購読に代わり、オンラインジャーナル化すれば会費を下げることも可能であり、現在、会員に対して雑誌購読方法の希望アンケートを行っている最中です。

そのほかにも、関連国内学会【日本創傷外科学会など】、国際学会【世界創傷治癒学会など】との連携について論議を深める必要性がありますし、評

議員選考の問題も重要な課題であると認識しています。これらさまざまな要件に関して、関連学会協議委員会、評議員選考委員会、国際委員会などと連携をとりながら、より良い方向に解決していきたいと考えています。

このニュースレターをお読みの会員・評議員におかれましても、日本創傷治癒学会に対して様々なご意見ご要望がありと存じますので、私もしくは将来構想検討委員会の委員あてにお寄せいただければ幸甚です。皆様のご指導、ご協力をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

WRRに会員の論文が掲載されました

会員の論文がWound Repair and RegenerationのVolume18.1に掲載されました。論文名、著者(筆頭執筆者または第2執筆者)は下記の通りです。

投稿規程に関しましてはジャーナルホームページ、<http://www.wiley.com/bw/journal.asp?ref=1067-1927&site=1>より入手してください。また各巻頭に掲載されておりますInformation for authorsをご参照下さい。なお、円滑な審査を行うために、2004年度よりオンライン投稿を推奨しております。

飯坂 真司 先生(東京大学大学院医学系研究科 老年看護学/創傷看護学分野)

「Do nutritional markers in wound fluid reflect pressure ulcer status?」

P. 31 ~ 37

第40回 日本創傷治癒学会のご案内(第2次)

会 長 : 百束比古(日本医科大学形成外科教授)
会 期 : 平成22年12月2日(木)、3日(金)
会 場 : 都市センターホテル
東京都千代田区平河町2-1 TEL 03-3265-8211

特別講演 北島政樹先生(国際医療福祉大学学長、日本創傷治癒学会名誉理事長)

招待講演 Luc Teot先生(モンペリエ大学教授)

- 主 題
- 1 消化管における創傷治癒のトピックス
 - 2 フットケア・褥瘡治療のupdate
 - 3 再生誘導治療の基礎医学
 - 4 看護師の創傷管理に果たす役割と現状
 - 5 難治性潰瘍治療における集学的治療

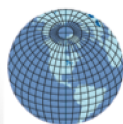
学会事務局 : 順天堂大学医学部形成外科 水野博司(事務局長)
日本医科大学形成外科 小川 令(事務局長代行)

日本医科大学形成外科
〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5
電話:03-5814-6208(形成外科医局)
ファックス:03-5685-3076(形成外科医局)

運営事務局 : (株)サンプラネット 担当 田村 洋介 電話:03-5940-2610

ISMT 2010

International Scar Meeting in Tokyo



International Scar Meeting in Tokyo

Nov. 30th and Dec. 1st, 2010
Toshi Center Hotel, Tokyo, Japan

Official Language: **English**



本年11月30日および12月1日にフランスのScar Meetingの支援を受け、東京にてアジア・北米を中心としたInternational Scar Meetingを開催させていただくこととなりました。

ハーバード大学、スタンフォード大学、ノースウェスタン大学の創傷治癒・瘢痕治療・熱傷治療で著名な先生方をはじめ、医学雑誌 *Wound Repair & Regeneration* や *ePlasty* のEditor-in-chiefの先生方、韓国や中国からもこの領域に造詣の深い先生方を多く呼びしています。

この国際学会に、日本人の先生方にたくさんご参加いただき、活発な討論を御願いしたく存じます。また、本学会は、**第5回瘢痕・ケロイド治療研究会**と合同開催となり、また翌日からは続けて同会場・同会長のもと**第40回日本創傷治癒学会**を開催させていただきます運びとなりました。

演題募集や参加登録に関しまして、随時ホームページで情報を更新いたします。

<http://web.me.com/nmsprs/ISMT2010/>

多数の演題のご応募をお待ちしております。

会長 百束比古（日本医科大学形成外科）

事務局

小川令、赤石諭史（日本医科大学）
秋田定伯（長崎大学）

Honorary Presidents (50音順)

北島政樹（国際医療福祉大学）
Luc Teot (Montpellier, France)

Honorary Members (50音順)

大浦武彦（廣仁会褥瘡・創傷治癒研究所）
塩谷信幸（NPO法人創傷治癒センター）
徳永昭（日本医科大学）

President

百束比古（日本医科大学）

International Advisory Board (ABC順)

Nicole S. Gibran (Seattle, USA)
Mark S. Granick (Newark, USA)
Geoffrey C. Gurtner (Stanford, USA)
Patricia A. Hebda (Pittsburgh, USA)
Joon Pio Hong (Seoul, Korea)
Thomas A. Mustoe (Chicago, USA)
Dennis P. Orgill (Boston, USA)
Wei Liu (Shanghai, China)

Local Advisory Board (50音順)

赤石諭史（日本医科大学）
秋田定伯（長崎大学）
上村哲司（佐賀大学）
大慈弥裕之（福岡大学）
小川令（日本医科大学）
貴志和生（慶應義塾大学）
菅又章（東京医科大学）
鈴木茂彦（京都大学）
寺師浩人（神戸大学）
土佐泰祥（昭和大学）
丸山優（東邦大学）
山本有平（北海道大学）

*ご質問は事務局日本医科大学形成外科 小川が承ります（Tel: 03-5814-6208, E-mail: r.ogawa@nms.ac.jp）。